

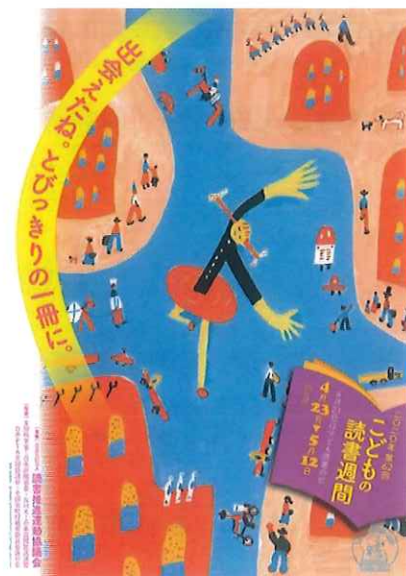


こどもの読書週間

「出会えたね。とびっきりの1冊に。」

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は、1959年(昭和34年)にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



期間中、館内でおすすめ本のフェアコーナーを設置しています。
図書館に関する絵本や読書に関する絵本などを集めています。

普段手に取ったことのない本にも出会うチャンスです。
1冊でも多くの本に出会えますように。



武雄市図書館・歴史資料館 20周年企画

～振り返ろう！みんなの図書館～vol.1

2000年10月1日にオープンした武雄市図書館・歴史資料館。
今年で20周年を迎えます。

そこで、今回より1年を通して、20年の歴史を振り返りたいと思います。



今回は、館内の様子を
比べてみました。



2013年4月1日
リニューアルしま
した。



中世の武雄—橘氏から後藤氏へ—

中世の武雄を治めていたことで知られるのは、のちの武雄鍋島家へとつながる後藤氏ですが、実はそれ以前に橘氏が武雄・杵島一帯で大きな勢力を誇っていました。橘氏はもともと皇族の血筋で知られる名家でした。鎌倉幕府の命によって嘉禎2(1236)年に肥前国杵島郡長島荘(現在の武雄市橘町大字永島付近)に移り住みました。

のちに姓を渋江と改め、分家として牛島氏・中村氏・中橋氏を興しました。本家である渋江氏は潮見城を拠点に代々長島荘の総地頭を務めました。そして12世紀の前半になって富岡村湯里(現在の武雄市武雄町大字富岡付近)に移り住んだ後藤氏と幾度も争いを続けてきました。そして16世紀前半の渋江公勢の頃、日鼓城に拠点を移し、全盛期を迎えたといわれています。この頃の後藤氏は娘を嫁がせるなどしており、渋江氏と同盟関係を築いていました。公勢と後藤氏の娘との間には3人の男子が生まれましたが、長男が純明と名乗って後藤氏の家督を継いだため、次男公政と三男公親の間で跡継ぎ争いが起こりました。跡を継いだのは三男の公親でしたが、若干13歳の少年であったことから、兄純明によって領地を奪われ、追い出されてしまいました。その後、何度か奪還に動きますが、果たすことなく、子孫は大村氏や松浦氏の家臣となりました。

【参考文献】武雄市史編纂委員会編『武雄市史 上』武雄市教育委員会 1972
武雄市図書館・歴史資料館編『平成 21 年度特別企画展 戦国の九州と武雄 後藤貴明・家信の時代』2010

次回企画展示のご案内

2020年東京オリンピックの聖火リレーの際に使われるトーチが組織委員会より各都道府県に1本ずつ無償譲渡され、佐賀県内では、全20市町で巡回展示が行われます。

武雄市歴史資料館ではトーチを4/27(月)～5/3(日)の期間で展示します。

同時に4/25(土)～5/24(日)の間でオリンピックやスポーツに関する様々な資料も展示します。

・開館時間：(日～木) 9:00～18:00 (金・土) 9:00～21:00

GW 期間中(4/29～5/6)は9:00～21:00

観覧無料 会期中無休

・場 所：武雄市図書館・歴史資料館 蘭学企画展示室

多くの皆様のご来館をお待ちしております。



図書館
歴史資料館

(災害時等、緊急の場合は休館致します。) <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp/>

武雄市図書館・歴史資料館

9:00～21:00／年中無休

9:00～17:00／月曜休館

TEL (0954-20-0222)

FAX (0954-20-0223)